



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月5日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6769 URL <http://www.thine.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野上 一孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 康裕 TEL 03 (5217) 6660  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,864	9.2	212	263.3	440	276.7	261	172.4
26年12月期第2四半期	1,706	△0.3	58	—	117	1.5	95	△9.7

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △35百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 121百万円 (3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	24.93	24.76
26年12月期第2四半期	7.89	7.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	9,938	9,356	93.9
26年12月期	10,146	9,478	93.2

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 9,334百万円 26年12月期 9,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,737	27.6	706	89.8	995	12.2	643	△2.5	61.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	12,340,100株	26年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	1,848,570株	26年12月期	1,862,570株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	10,485,124株	26年12月期2Q	12,163,305株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、緩やかな回復傾向も見られる一方で、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクを懸念させる状況が継続しました。

このような環境の下で、当社グループは2016年を目標年次とする中期経営戦略「REGROW」に基づき、地域と市場と技術の各ポートフォリオを強化することにより、過去最高の営業利益水準への再成長を目指しております。この実現に向けて、世界市場における活動体制の強化、産業機器、民生機器、モバイルおよび車載機器の戦略4市場への積極的展開、そして特定分野における世界ナンバーワンのソリューション提供に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、テレビ向けビジネスが計画を下回る出荷数量となった一方、産業機器（事務機器、アミューズメント、セキュリティカメラなど）向けビジネスおよびスマートフォン向けビジネスが計画を上回る形で利益の伸びを牽引しました。特に、産業機器市場においては売上総利益を前年同期比で約4割増加させることができました。テレビ市場においては、当社グループが世界市場に提供するデファクトスタンダード（事実上の世界標準）であるV-by-One®HS技術が4Kテレビ等に活用される状況が続きました。車載市場においては、アジア向けドライブレコーダ関連ビジネスが一巡しましたが、車載市場における高精細解像度の表示画面のニーズの高まりに対応して、フルHD解像度を1対のペア線のみで高速情報伝送可能なV-by-One®HS新製品の量産出荷等により、ビジネスの拡大を図るため、積極的な営業活動を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18億64百万円（前年同期比9.2%増）、売上総利益は12億22百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間においても効率的な研究開発活動を継続しつつ、将来の成長の鍵となる技術を積極的に開発しました。車載カメラ等でも適用できるフルHDを1ペア伝送可能な技術開発を完了したほか、将来の事業の柱となる次世代高速インターフェース技術の開発、車載インフォテインメント等の表示制御用LSI技術、配線をスマート化するモータードライバ技術、高解像度カメラ技術の開発などを行い、研究開発費5億82百万円（前年同期比7.8%減）を投じました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益は2億12百万円（前年同期比263.3%増）となりました。また、為替差益、資金運用の配金収入などの結果、経常利益は4億40百万円（前年同期比276.7%増）、四半期純利益は2億61百万円（前年同期比172.4%増）となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末日において約14百万USドルのドル建て資産を保有しております。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を4億40百万円計上し、売上債権が1億57百万円減少した一方、その他の流動資産が1億1百万円増加したこと等により2億93百万円のプラスとなりました。（前年同期は3億82百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の取得による支出等により9億45百万円のマイナスとなりました。（前年同期は20億12百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により87百万円のマイナスとなりました。（前年同期は17百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として7億11百万円減少して当第2四半期連結会計期間末残高は58億47百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の通期業績予想については、平成27年7月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,558,340	5,847,207
売掛金	609,707	452,263
営業投資有価証券	26,684	14,154
商品及び製品	222,019	236,156
仕掛品	54,856	76,864
原材料	62,092	61,163
繰延税金資産	34,859	29,188
その他	63,211	164,718
流動資産合計	7,631,772	6,881,717
固定資産		
有形固定資産	111,926	97,200
無形固定資産	11,161	9,446
投資その他の資産		
投資有価証券	2,308,321	2,856,573
繰延税金資産	—	10,559
その他	83,042	82,939
投資その他の資産合計	2,391,363	2,950,072
固定資産合計	2,514,451	3,056,718
資産合計	10,146,224	9,938,436
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	200,442	215,445
未払法人税等	88,448	149,887
賞与引当金	52,957	41,004
役員賞与引当金	15,000	7,500
その他	199,319	144,313
流動負債合計	556,167	558,149
固定負債		
繰延税金負債	87,752	—
資産除去債務	23,426	23,586
固定負債合計	111,179	23,586
負債合計	667,346	581,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,291,162	1,291,162
利益剰余金	9,535,688	9,691,732
自己株式	△2,790,041	△2,769,069
株主資本合計	9,212,076	9,389,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	170,353	△129,097
為替換算調整勘定	71,405	74,320
その他の包括利益累計額合計	241,758	△54,777
新株予約権	25,042	22,385
純資産合計	9,478,877	9,356,700
負債純資産合計	10,146,224	9,938,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,706,513	1,864,043
売上原価	622,282	641,641
売上総利益	1,084,231	1,222,402
販売費及び一般管理費	1,025,679	1,009,699
営業利益	58,552	212,702
営業外収益		
受取利息	2,335	2,138
受取配当金	107,228	204,131
為替差益	—	22,646
雑収入	1,221	373
営業外収益合計	110,785	229,289
営業外費用		
為替差損	52,332	—
投資事業組合運用損	—	1,249
営業外費用合計	52,332	1,249
経常利益	117,005	440,742
税金等調整前四半期純利益	117,005	440,742
法人税等	21,019	179,324
少数株主損益調整前四半期純利益	95,985	261,418
四半期純利益	95,985	261,418

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	95,985	261,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,695	△299,450
為替換算調整勘定	△10,940	2,915
その他の包括利益合計	25,754	△296,535
四半期包括利益	121,740	△35,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,740	△35,117
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	117,005	440,742
減価償却費	29,112	17,514
株式報酬費用	7,504	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,408	△11,953
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,500	△7,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,808	—
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	36,114	12,529
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	1,249
受取利息及び受取配当金	△109,564	△206,270
為替差損益 (△は益)	43,790	△24,816
売上債権の増減額 (△は増加)	381,275	157,365
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,033	△35,216
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△81,919	△101,494
仕入債務の増減額 (△は減少)	△95,870	15,003
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	13,686	△52,962
その他	△65	494
小計	314,936	204,687
利息及び配当金の受取額	109,443	206,422
法人税等の支払額	△41,943	△117,351
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>382,435</b>	<b>293,758</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△16,011	△1,533
敷金の回収による収入	358	473
敷金の差入による支出	△781	—
投資有価証券の償還による収入	3,392	55,625
投資有価証券の取得による支出	△1,999,204	△999,013
その他	14	△742
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,012,232</b>	<b>△945,189</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△84,854	△94,297
ストックオプションの行使による収入	66,693	7,238
その他	896	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△17,265</b>	<b>△87,059</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53,390	27,357
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,700,452	△711,133
現金及び現金同等物の期首残高	10,226,116	6,558,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,525,664	5,847,207

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。